

Panasonic



Panasonic NPO/NGOサポート  
プロボノプログラム

# プロボノのススメ

Panasonic NPO/NGOサポートプロボノプログラム 10周年節目アンケート調査レポート

NPO/NGOの組織基盤強化に  
企業人の力を役立てる



## INDEX

- ① ご挨拶 ..... 03
- ② Panasonic NPO/NGOサポート プロボノ プログラムの概要 ..... 04
- ③ 支援先団体アンケート結果のご紹介 ..... 08
- ④ プロジェクト後のアフターストーリー ..... 20
- ⑤ 参加従業員アンケート結果のご紹介 ..... 33
- ⑥ 協働パートナーからのメッセージ ..... 46



## プロボノで 個人、会社、社会を元気に



社会的ニーズに取り組む市民活動が持続的に発展していくためには、「NPO/NGOの組織基盤強化が必要ではないか」との問題意識のもと、2001年に組織基盤強化を応援する助成プログラム「Panasonic NPO サポート ファンド(現、NPO/NGOサポートファンド for SDGs)」を設立しました。以来、パナソニックは一貫してNPO/NGOの組織基盤強化に資する取り組みを展開し、今年20周年を迎えます。

2011年には、サポートファンドで助成した社会的意義の高いNPO/NGOと従業員との接点を作るため、新しい形のボランティアである「ビジネススキルを活かしてNPO/NGOの事業展開力の強化を応援する『Panasonic NPO/NGO サポート プロボノ プログラム』」を設立。認定特定非営利活動法人サービスグラントと協働し、社会課題の広がりへの対応や新しい社会的価値の創造に向け、また従業員のニーズに合わせて様々な取り組みに挑戦してまいりました。

このたび、プロボノの取り組みが10周年の節目を迎えるにあたり、これまでの支援先団体、そしてプロボノに参加した従業員にアンケート調査を行いました。このレポートでは、プロボノの取り組みを通じたNPO/NGOの活動への成果や、参加した従業員にもたらされた様々な変化をご紹介します。

NPO/NGOの皆様をはじめ、ビジネスパーソンの皆様に、プロボノの意義や価値、そして可能性を感じていただき、新たな一歩を踏みだすきっかけにいただけると嬉しいです。

2021年10月 パナソニック株式会社

## Panasonic NPO/NGOサポート プロボノ プログラムの概要

パナソニックグループ従業員の仕事で培ったスキルや経験をさらに広く社会の中でお役に立て、社会課題の解決に取り組むNPO/NGOの事業展開力の強化を応援する”新しい形のボランティア”として2011年4月にスタートしたのが、「Panasonic NPO/NGOサポート プロボノ プログラム」です。

その支援先として、NPO/NGOの組織基盤強化に助成する「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs (旧:Panasonic NPOサポートファンド)」の過去助成先や、東日本大震災の被災地の復興支援に携わる団体等を応援しています。

設立からこれまでに、のべ296名の従業員がプロボノとして活動に参加し、NPO/NGO51団体、55件の組織基盤強化につながる具体的な支援をしました。

また、プロボノプログラムの実施とともに、社会にプロボノの取り組みや成果を広く伝えることを目的に「プロボノフォーラム」の開催や、プロボノプロジェクトの事例をウェブサイトを通じて積極的に紹介しています。

### \プログラムの目的/

- 従業員のビジネススキル・経験をさらに社会の中でお役に立てる
- サポートファンドの助成先を中心に、プロボノで事業展開力の強化を支援し、社会課題の解決をさらに促進する
- 従業員が社会課題やNPO/NGOへの理解を深めることで、イノベーションマインドの醸成をはかる



## プロボノとは



社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かしたボランティア活動を意味します。

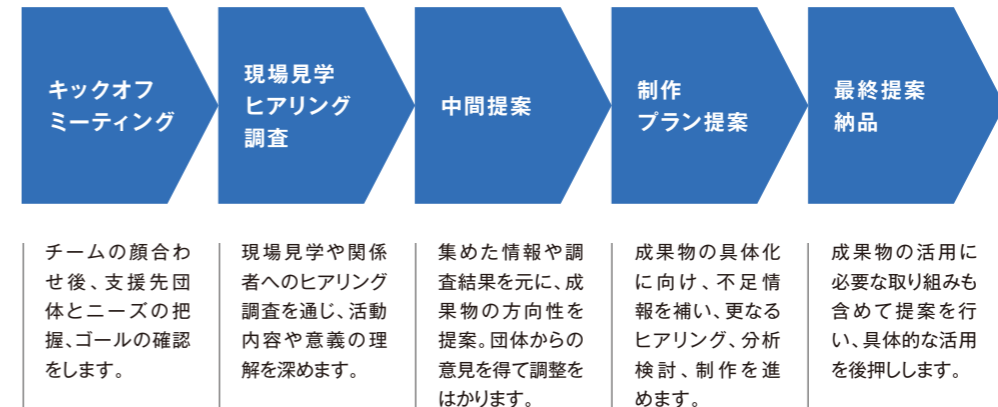
国内では2010年がプロボノ元年と言われ、企業人やクリエイターなどビジネスパーソンならではのボランティア活動として広がりを見せています。

「チーム」を編成し、「具体的な成果物」の提供を目指して、「週5~7時間×6ヶ月程度」を目途にプロジェクトに取り組めます。

●語源はラテン語のPro Bono Publico (公共善のために)

ラテン語	英語	日本語
Pro	For	~のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

### [プロボノプロジェクトの標準的な流れ]



## 「プロボノの取り組み実績」(2011～2020)

- 296名が参加し、サポートファンドの助成先を中心に51団体に55件のプロジェクトを実施
- 長期プロボノでは42件、福島への1泊2日プロボノでは9件、1DAYプロボノで4件を支援
- 長期プロボノの支援メニューとしては、マーケティング基礎調査(11)、中期計画策定(8)、ウェブサイトの再構築(8)、営業資料作成(5)、業務フロー改善提案(4)、パンフレットの作成(2)、データ・整理分析(1)、事業評価(1)、業務マニュアル作成(1)、寄付管理提案(1)を支援
- 55件のプロジェクトのうち、51件を当社グループ従業員で構成するパナソニックチームで支援

## 「東日本大震災の復興に取り組むNPO、災害支援NPOも支援」

東日本大震災の発生直後にプログラムを設立したこともあり、復興支援に取り組む団体も応援しています。長期のプロジェクトでの支援の他、福島県を舞台に、2014年、2015年の2年にわたり、週末を利用して1泊2日で取り組む「プロボノ TO ふくしま」を実施し、2年間で9団体、43名の従業員が参加。復興支援に向けた新たなプロボノにも挑戦してきました。また近年頻発する自然災害に際し、災害現場での支援効果を高めるべく、災害支援に取り組むNPOを支援しています。



## 「受賞歴」

企業主体のプロボノ活動に先駆的に取り組み、2017年1月には新しい形のボランティアとして、「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」特別賞を受賞しています。



## 「認定NPO法人 サービスグラントとの協働」

設立以来、国内でプロボノプログラムの推進に取り組む、認定NPO法人サービスグラントと協働で推進しています。



## 長期プロボノ支援先一覧

	年度	拠点	支援先団体名	支援メニュー
1	2011年度	東京都	NPO法人環境=文化NGOナマケモノ倶楽部	ウェブサイト再構築
2		大阪府	NPO法人 チャイルド・リソース・センター	ウェブサイト再構築
3		大阪府	NPO法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会	ウェブサイト再構築
4		大阪府	NPO法人 花と緑のネットワークとよなか	ウェブサイト再構築
5	2012年度	宮城県	やっべす 石巻復興支援ネットワーク	営業資料
6		大阪府	NPO法人 エスビューロー	ウェブサイト再構築
7		京都府	認定NPO法人 気候ネットワーク	事業計画立案
8		兵庫県	NPO法人 こどもコミュニティケア	事業計画立案
9		兵庫県	認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	ウェブサイト再構築
10	2013年度	岩手県	NPO法人 サンガ岩手	マーケティング基礎調査
11		京都府	認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会	事業計画立案
12		兵庫県	認定NPO法人 ソムニード(現:ムラのミライ)	マーケティング基礎調査
13		東京都	認定NPO法人 ファミリーハウス	事業計画立案
14	2014年度	東京都	認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン	マーケティング基礎調査
15		大阪府	NPO法人 CAPセンター・JAPAN	ウェブサイト再構築
16		大阪府	NPO法人 さをりひろば	マーケティング基礎調査
17	2015年度	大阪府	公益社団法人 アジア協会アジア友の会	営業資料
18		兵庫県	認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	マーケティング基礎調査
19		高知県	NPO法人NPO砂浜美術館	業務フロー設計
20	2016年度	福島県	NPO法人 まちづくりNPO新町なみえ	ウェブサイト再構築
21		大阪府	認定NPO法人 健康ラボステーション	マーケティング基礎調査
22		大阪府	NPO法人 こえとことばとこころの部屋(ココローム)	マーケティング基礎調査
23		大阪府	公益財団法人 箕面市国際交流協会	事業計画立案
24		宮城県	NPO法人 移動支援Rera	業務フロー設計
25	2017年度	東京都	NPO法人 東京レインボープライド	事業計画立案
26		兵庫県	バスケットボール伊丹	運営マニュアル
27		大阪府	NPO法人 びーす	パンフレット
28	2018年度	熊本県	NPO法人 くまもと災害ボランティア団体ネットワーク	議事録の整理と分析
29		岩手県	NPO法人 東北開墾	営業資料
30		茨城県	NPO法人 居場所サポートクラブ ロベ	営業資料
31	2019年度	山梨県	認定NPO法人 スペースふう	事業計画立案
32		石川県	NPO法人 河北潟湖沼研究所	マーケティング基礎調査
33		大阪府	認定NPO法人 こどもの里	寄付管理
34	2020年度	東京都	認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)	災害支援ノウハウ集の作成
35		東京都	社会福祉法人 日本国際社会事業団	マーケティング基礎調査
36		大阪府	NPO法人 あつとすくーる	業務フロー設計
37		大阪府	認定NPO法人 児童虐待防止協会	セールスシート
38		大阪府	NPO法人 ニランジャンナセワサンガ	マーケティング基礎調査
39	2020年度	東京都	認定NPO法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)	営業資料
40		京都府	認定NPO法人 テラ・ルネッサンス	事業評価
41		大阪府	NPO法人 はっぴい21福祉会	事業計画立案
42		福岡県	認定NPO法人 山村塾	マーケティング基礎調査

## プロボノ TO ふくしま(1泊2日の短期プロボノ)支援先一覧

	年度	拠点	支援先団体名	支援メニュー
1	2014年度	福島県	NPO法人 いいざかサポーターズクラブ	着地型観光を担うボランティア募集チラシ
2			一般社団法人 手づくりマルシェ	「ふくしまの市」ウェブサイト企画
3			NPO法人 ビーンズふくしま	企業の支援を得るためのパンフレット
4			一般社団法人 ふくしま連携復興センター	企業等の支援を増やすための営業ツール
5			NPO法人 ふよう土2100	支援者・ボランティア募集のためのチラシ
6	2015年度	福島県	NPO法人 いわき自立生活センター	多機能型福祉施設のニュースレター作成
7			NPO法人 元気の素カンパニー以和貴	ホームページの構成提案
8			NPO法人 Commune with 助産師	妊産婦ケアセンター開設に向けた資料作成
9			NPO法人 ふよう土2100	会員・寄付募集チラシ

※上記以外に、プロボノ 1DAY チャレンジを4件実施しました。

## 支援先団体 アンケート結果のご紹介

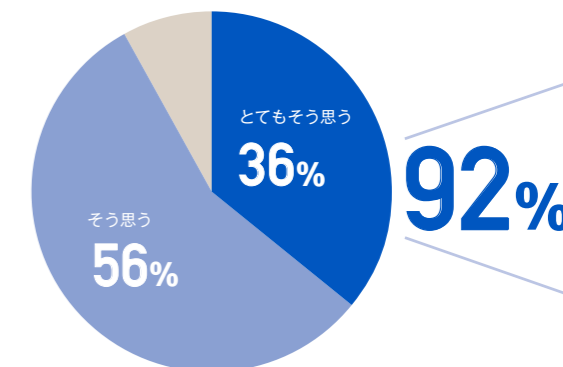
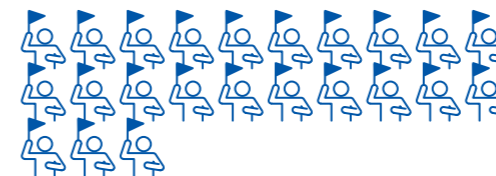
2011年～2019年度 長期プロジェクト支援先を  
対象にオンラインアンケートを実施しました。

- アンケート期間：2020年10月～2021年1月
- 団体回答数：25団体／37団体 ※37団体、38プロジェクトを実施
- 団体回答率：67.5%



23 団体が、

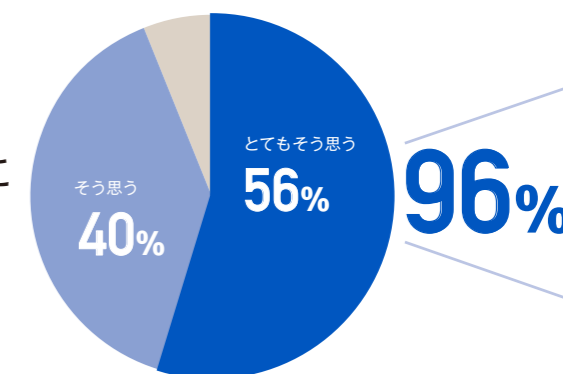
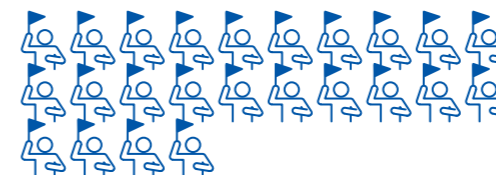
プロボノプロジェクトが組織の  
基盤強化につながったと回答



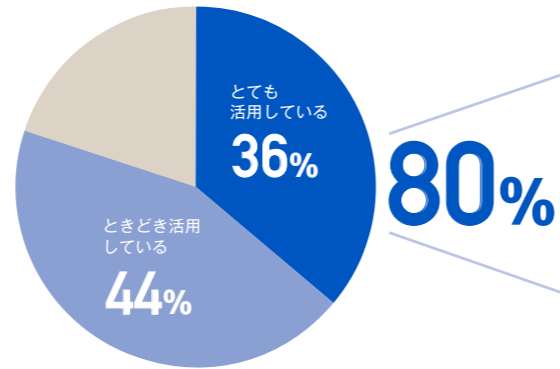
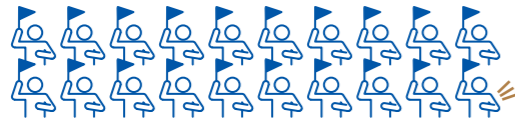
※注記※  
事業変更や事業譲渡などにより、成果物を十分に活かせる環境や  
状況になくなった2団体を除き、回答した団体は全て、  
プロボノプロジェクトが組織の基盤強化につながったと回答。

24 団体が、

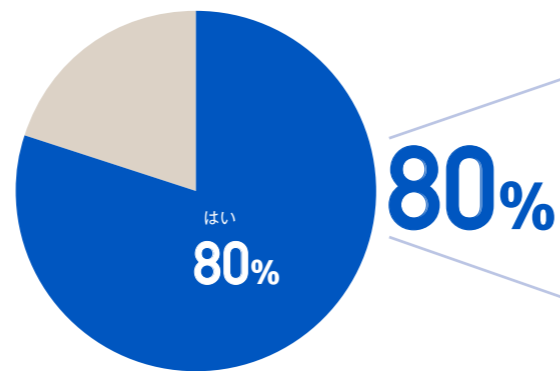
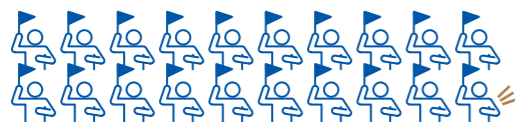
プロボノの支援を通じて団体に  
良い変化があったと回答



**20** 団体が、  
現在も成果物を活用している  
と回答



**20** 団体が、  
プロボノ終了後もプロボノワーカー  
と関わりがあったと回答

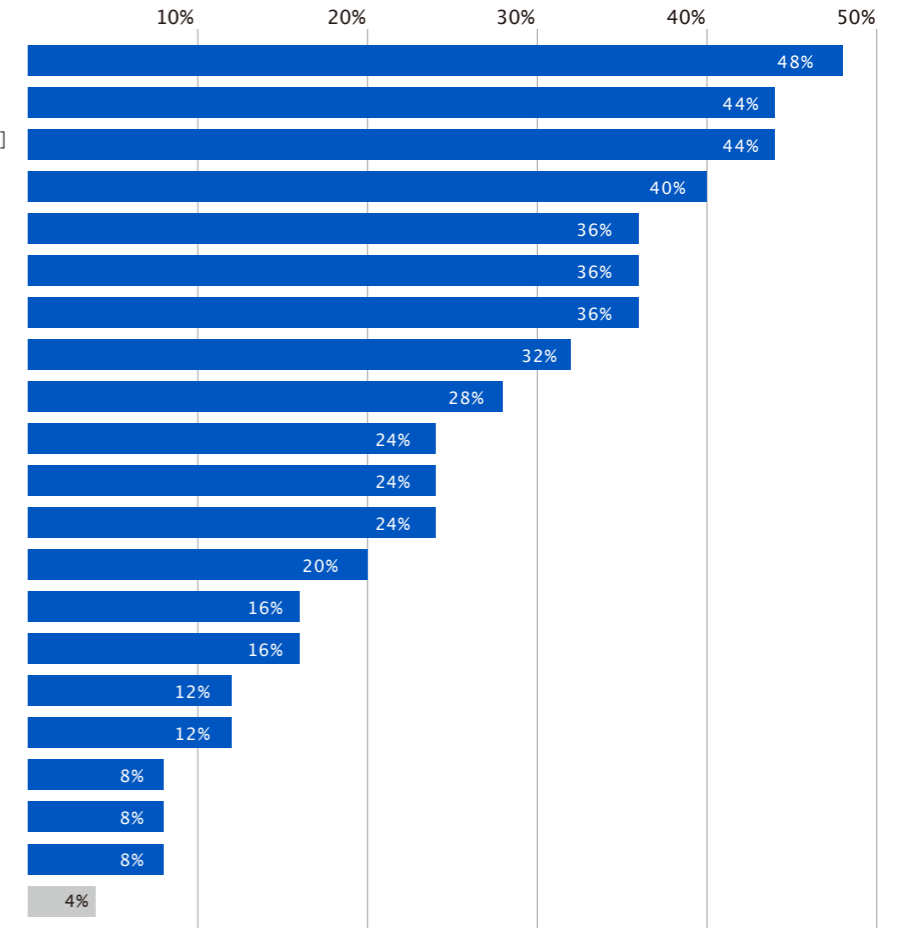


団体主催のイベント参加、寄付、会員加入や、  
継続的な事業・組織運営へのアドバイス 等

## プロボノ プロジェクト が、特に寄与したと思われる 項目はどれですか？

「団体の認知度が向上した」という回答が最上位になりました。  
プロボノチームの客観的な視点と協働が、団体の課題点を  
明確にすると同時に、団体が自分たちの取り組みに自信を深め、  
活力を生み出す作用もあることが確認できました。  
組織の基盤強化の具体的な一歩をプロボノを通じて進めることで、  
寄付金や問い合わせの増加など定量的な成果や業務効率化、  
モチベーション向上の質的変化につながっていることがわかりました。

- [団体の認知度が向上した]
- [外部からの問い合わせ件数が増えた]
- [情報発信の重要性についての認識が深まった]
- [情報発信を効果的に行う体制が構築できた]
- [団体の予算規模が大きくなった]
- [正会員が増えた]
- [賛助会員が増えた]
- [寄付金が増えた]
- [ボランティアが増えた]
- [スタッフ（有給）が増えた]
- [受益者が増えた]
- [協働企業が増えた]
- [団体のビジョン・目標が明確になった]
- [団体の改善点が明確になった]
- [業務が効率化した]
- [代表者のモチベーションが向上した]
- [理事のモチベーションが向上した]
- [有給スタッフのモチベーションが向上した]
- [ボランティアのモチベーションが向上した]
- [自分たちの取り組みに自信が持てた]
- [その他]



# プロジェクト 完了後の成果

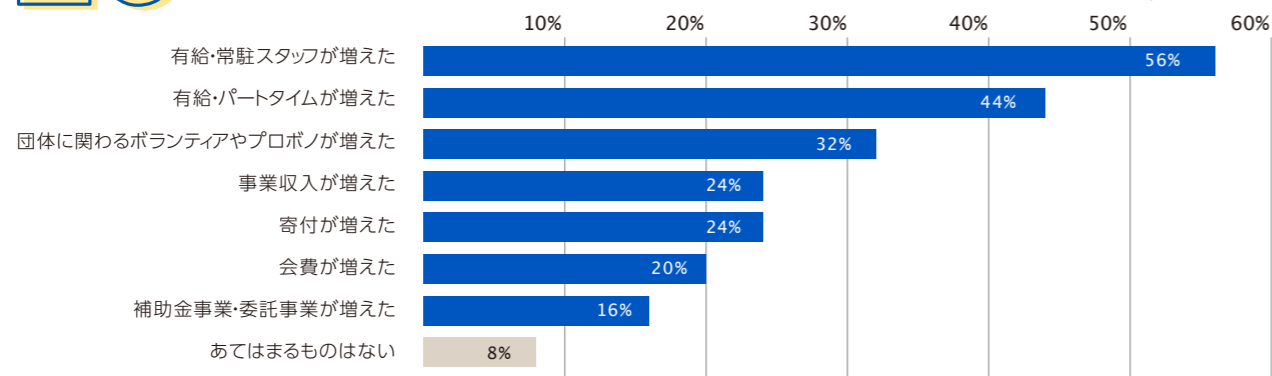
アンケート結果の中から、  
プロジェクト完了後の変化および成果について  
エピソードとともにご紹介します。

## 成果 1 事業収入や寄付、スタッフ、支援者が増加した。

**23** 団体が、プロボノプロジェクト以降、  
なんらかの組織の成長があったと回答

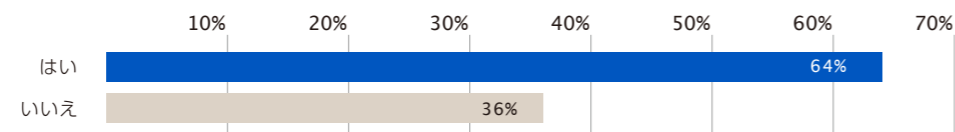
※組織の成長に関する項目に1つ以上  
該当があった団体数の割合を示しています。

92%



**16** 団体が、プロボノプロジェクト以降、  
受益者の人数が増加したと回答

64%



## 成果 1 事業収入や寄付、スタッフ、支援者が増加した。



環境文化NGOマナケモノ  
ウェブサイト  
事務局長 馬場 直子さん

理事会での意見交換が活発になりました。ボランティアスタッフ（単発）から理事として定期的に関わるスタッフが増えました。

クリエイティブな協同作業！



あっとそくーる  
業務フロー設計  
理事長 渡 剛さん

現場で子どもと関わるだけでなく、運営面で関わってくれる大学生が増えました。学生を巻き込んだプロジェクト運営のためのフロー、マニュアルを整備していただき、日々の業務の中で使用しています。

内部だけでは発見できない  
組織のいいところ、悪いところを  
見つけ出してくれるプログラム



pies  
印刷物  
理事長 小田 多佳子さん

法人パンフレットに示された「piesの想い」をみんなで見直し、できることをコツコツ積み上げた結果、年度末にはボランティアを43名まで増やすことができました。

頼れるチームメイト



「プロボノを一言で例えると？」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。

成果2 活動が可視化され、組織内の課題、ビジョンの共有が促進された。



箕面国際交流協会  
事業計画立案  
事務局次長 岩城 あすかさん

団体の課題やビジョンがより明確になったと感じています。成果物をもとに関係者間で意見交換ができ、運営しているカフェの収益改善と体力強化のための取り組みが進んでいます。

プロのボランティア軍団!



全国災害ボランティア支援団体ネットワーク  
営業資料  
事務局長 明城 徹也さん

住宅再建のノウハウをまとめた資料は、ウェブサイトのノウハウ集に掲載し、広く参考にしてもらっています。また、その後JVOAD専門委員会による「新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック」などの作成につながっています。

新しい視点をくれる  
お助けパーソン



河北潟沼湖研究所  
マーケティング基礎調査  
理事長 高橋 久さん

スタッフ会議の際に新規事業企画の参考として活用しました。成果物をもとにスタッフ間で意見交換し、新規事業計画を策定しました。提案のあった米粉の販売や、新しいウェブショップの開店などにつながっています。

仲間



「プロボノを一言で例えると?」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。

成果2 活動が可視化され、組織内の課題、ビジョンの共有が促進された。



NPO砂浜美術館  
業務フロー設計  
理事長 村上 健太郎さん

団体の事業が見える化され、スタッフの他事業分野についての意識が広がりました。各部門の担当者が集まって、月1の広報ミーティングを開催し、事業分野ごとの業務フローを作成しています。毎年事業計画を立てる時、体制を考える際に活用しています。

頼もしい仲間



「プロボノを一言で例えると?」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。



ファミリーハウス  
事業計画立案  
事務局長 植田 洋子さん

メンバーでビジョンを共有できました。理想の家建設のためのプレゼンや講演時に年間150回程度利用しています。文字や口頭だけではわかりにくい部分を補佐しているため、イメージがつかめた、という声が一番多いです。

ともに社会の  
問題解決に向かう、  
信頼できるパートナー



気候ネットワーク  
事業計画立案  
事務局長 田浦 健朗さん

月1~2回程度の京都・東京の合同事務局会議で検討の上、事業の進捗管理や情報共有のために活用しています。事業計画は数年ごとに見直し、理事会や総会で事業内容を検討・確認する際のベースになっています。

市民団体のチカラを引き出し、  
最大化する仲間であり、  
スペシャリスト





成果3 活動に対する自信、モチベーションの向上が実行力を後押しした。



スペースふう  
事業計画立案  
理事長 永井 寛子さん(左)

新規事業及び新規人材確保に成果物を活用しました。県外の営業に積極的に向き、わかりやすい資料を提供したり、より計画性をもった企画を試み実行することができました。身内の中だけでは煮詰まってしまう状況の中、プロボノの客観的かつ冷静な視点および分析が加わったことで企画を進めることができました。

伴走者、サポーター、  
ななめの距離の仲間



「プロボノを一言で例えると?」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。



児童虐待防止協会  
事業評価  
理事局長 川本 典子さん

現在の活動内容を具体的に説明できるパンフレットを初めて作ることができ、30周年に多くの支援者に前向きに頑張っていることを示すことができました。お陰様でコロナ禍での緊急支援の呼びかけに多くのご寄付を寄せていただくことができました。また新規支援者への活動紹介にも大変役立っています。

自分たちの足りないスキルを  
補ってくれるパートナー的存在



こどもコミュニティケア  
事業計画立案  
代表理事 末永 美紀子さん

自分たちにとっての『当たり前』を言語化し、価値を自覚したり再認識できました。社会から私たちNPOの活動が支援してもらっている、私たちの使命が意味あるもの、ともう一度確認させて頂けるプロセスでした。

解決する道と一緒に  
見つけ出してくれる



成果3 活動に対する自信、モチベーションの向上が実行力を後押しした。



日本国際社会事業団  
マーケティング基礎調査  
ソーシャルワーカー 榎本 裕子さん

活動を広報するうえで、当事業団のスタッフでは気づきにくい点を、プロボノの方たちがわかりやすく分析してくださいました。第三者の視点でアドバイスをいただいたことで、スタッフ内でも活動の見せ方や事業の見える化について議論を重ねるきっかけとなりました。

応援団



「プロボノを一言で例えると?」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。



アジア友の会  
営業資料作成  
副事務局長 熱田 典子さん

営業資料は外部向けの説明会の折に活用しています。プロジェクトの中で、団体の整理などが出来、どのように示すことが有効であるかを学べた結果、企業へのアピールの活性化をおこなうことへ繋がりました。

自分たちの取り組みに  
自信が持てた



エスピーロー  
ウェブサイト改善提案  
事務局長 長澤 正敏さん

活動内容の変化に応じてウェブサイトの見直しができ、今でも活用しています。スタッフは全員わかりやすくなったと感じています。ウェブサイトにYouTube動画をリンクして新たな発信を始めたり、成果物のウェブサイトをもとに次年度の計画を立案するようになりました。

外部の目で刺激を  
与えてくれる機会



## 成果 4

### 外部との協働経験は、日常業務の中にも活きる。



CAPセンター・JAPAN  
ウェブサイト  
事務局次長 **重松 和枝**さん

プロボノの丁寧なプロセスからHP制作のノウハウを学ばせていただき、グループ支援としてウェブ制作を請け負うチャレンジができたことは大きな成果だと思います。外から私たちの活動がどう見えるか、どう伝えることが必要かということを業務の中で意識することが当たり前になりました。

蜘蛛の糸  
NPOの思いをカタチにかえる  
課題解決請負人



ムラのミライ(支援当時:ソムニード)  
マーケティング基礎調査  
事務局次長代行 **宮下 和佳**さん

マーケティングという考え、ターゲットを絞って考えるというプロジェクト中の考え方はその後の業務の中でも一つの参考になりました。また、プロボノプロジェクトをきっかけに、外部向けの公開講座を実施し、その中からその後の展開を広げてくださる方との出会いなどにつながっています。

頼りになる友人グループ



東京レインボープライド  
事業計画立案  
共同代表理事 **杉山 文野**さん

プロボノを通じて、問題課題点を客観的に見ることができました。ミッション・ビジョンの再検討が必要と考え、新たに取り組みました。やるべき事業の棚卸しを行ったことで、新事業を立ち上げられました。YouTube等オンライン事業の展開やECサイトの開設につながっています。

伴走するパートナー



「プロボノを一言で例えると」の回答を吹き出しの中でご紹介しています。 ※法人格表記は省略しています。上から団体名/支援メニュー/役割 お名前。

## 課題

### 財源確保や人材育成にはなお課題が残る。

プロボノの支援を受けてもなお解決していない重要な課題や、その後、新たに生まれた課題を伺った結果、以下のような回答がありました。

財源縮小の見通しが濃厚な中、財源の確保と、活動メンバー間での改めてのビジョン・ミッションの共有やモチベーションの維持が課題

新規事業のサポートが必要。  
オンラインを活用した広報活動、  
営業活動の支援が必要。

団体の財政問題への解決に向け、さらに  
寄付金を増やすために、認定NPO法人格を  
取得することを検討しているが、そのための  
業務サポートを必要としている。

強固な会員と理事会の基盤づくりが必要と感じる。  
人材の流動性が高くなっていくなかで、どのように事業を続けていける  
チームを作るのか、が課題として浮上している。  
NPO会計を理解でき、コミットできる経理担当者を見つける&育てるのは至難の技で、  
よほど大きいところでない、経理担当を複数雇って、  
突然の離職などにも対応できるようペアワークをさせておくのは難しい。

今回のコロナの影響で、寄付金を募る  
大きなイベントである映画会が全く開催できなくなりました。そのため、これまでつながっていた  
支援者となかなかつながりにくくなっています。  
こうした状況でも、新たな広報やマーケティングの  
戦略が必要だと感じています。

ホームページの更新、再発信などの  
担当スタッフの確保による日常的体制が急務である。  
また、新しい媒体物(YouTube-SMS-SNSなど)の  
開発と継続的なスタッフの確保が命題である。

## プロジェクト後の アフターストーリー

プロジェクト完了後、  
支援先団体・プロボノ参加者に  
どのような変化があったのか伺いました。



### STORY 01

## 絶滅危惧種の保全活動から、 まちづくり活動へ発展



支援先 NPO法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会

支援メニュー ウェブサイト再構築(2011年度)

かつては日本全国に生息し、現在は絶滅危惧種IA類に指定されている  
淡水魚ニッポンバラタナゴの保全活動に取り組んでいる団体です。



ボクのこと  
知ってる～？



代表理事  
加納 義彦さん



八尾市にある廃校の一室を利用し生物多様性を発信

その後について、団体に伺いました。

ウェブサイト完成後は、他団体との交流が増え、活動拠点である八尾市の協議会や大学、企業との協働事業が増加しました。廃校を活用したタナゴの博物館の立ち上げや、森林整備から出た木材を生かす取り組み

などを地元企業と連携しながら取り組むなど活動の幅が格段に広がりました。団体の顔となるウェブサイトは、制作当時と変わらず、今も情報発信を支える基盤として活用しています。

STORY  
02

## 「理想のハウス」実現につなげる きっかけはプロボノから

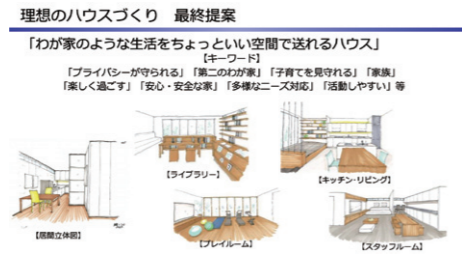


支援先 ▶ 認定NPO法人 ファミリーハウス  
支援メニュー ▶ 事業計画立案(2013年度)

高度医療を受けるため、自宅から遠く離れ東京の病院で治療する子どもと付き添い家族が一人1泊1,000円(病児は無料)で滞在できるファミリーハウス(宿泊施設)を、都内11施設56部屋運営している団体です。



プロボノメンバー  
丹田 浩司さん



理想のハウスの要素を具体化し、ビジュアル化

その後についてプロボノメンバーが団体に伺い、当時はふり返りました。

子どもが重い病気で長期間の入院生活を余儀なくされた時、遠方から来てつき添う家族が安心して寝泊まりできる“第二のわが家”。みんなの理想としているその場所はいったいどういうものなのか？  
具体的にビジュアル化することで理事会、総会、助成団体などへのプレゼン資料として活用し、実現に一步でも近づけたいと考える代表の期待を背負いプロジェクトがスタートしました。  
理事・医療関係者・ボランティア・ハウス運営者の方々な

どをチーム内で分担を決めて、現地を訪問。21名の方々にそれぞれが考える「理想のハウス」についてヒアリングを行い、関係者別、ハウスへのコンセプト別、各部屋別、設備別に想いを取りまとめました。あれから8年が経ちましたが、成果物として納品した資料は今も現役。夢のハウスの実現に向けて、団体だけではなく聞き出せなかった関係者の思いが詰まった資料として活躍しています。時間をかけ丁寧に、着実に実現に向けて取り組んでおられます。

STORY  
03

## じわじわ感じる ウェブサイトの効果



支援先 ▶ NPO法人 CAPセンター・JAPAN  
支援メニュー ▶ ウェブサイト再構築(2014年度)

子どもの人権が尊重され、あらゆる暴力のない社会づくりをめざして、子どもへの暴力防止プログラムを提供する実践者の養成、地域で活動するCAPグループへの組織運営支援、啓発・研修事業、関係諸機関とのネットワーク推進事業等を行っています。

\*CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略



事務局長 長谷 有美子さん



プロジェクトの進め方の中に、団体の次なる展開のヒントも。

その後について、団体に伺いました。

プロボノの皆さんとウェブサイトを改訂するプロセスを通じて、伝えたい人のセグメントと、そのターゲットに何を最も伝えたいのか？どう動いて欲しいのか？を考えたことは、自分たちの大きな学びとなりました。その経験を活かして、CAPグループ内、また、他団体のウェブサイトの作成や更新を引き受けるようになったのは大きな変化の一つです。団体の顔となる情報発信の基盤が整

い、信頼感を増したことが、企業からのお誘いや、それまで接点がなかった新規の方からの小口寄付の増加につながっていると思います。2020年は日本でCAPプログラムが導入されて25年の節目の年。協働事業の数も当時から3倍に増えており、今後も多様な組織と連携しながら、暴力のない社会に向けて取り組みを発信していきたいと思っています。

## プライドパレードに チームで参加



支援先 NPO法人 東京レインボープライド

支援メニュー 事業計画立案(2017年度)

「らしく、たのしく、ほこらしく」をモットーに、性的指向および性自認にかかわらず、すべての人が、より自分らしく誇りをもって、前向きに楽しく生きていくことができるHappy!な社会の実現を目指した団体、およびイベントの総称。

代々木公園を中心としたイベントやパレードなど20万人を超える参加者を集め、多様なセクシュアリティの人たちの交流が生まれる場の提供を行っています。



プロジェクト参加後、東京渋谷区で開催されたパレードに参加

その後について、プロボノメンバーに伺いました。

事業計画立案に協力させていただき、セクシャルマイノリティーの理解やパレードの意義を強く感じました。プロボノ後もプライドパレードの運営や他のイベントに

参加したりと精力的に活動しています。また、メンバー各々がプロボノの価値を認識し、この価値を共有すべくそれぞれの立場で活躍しています。

## 業務効率化が、 子どもたちに向き合う時間を創出



支援先 認定NPO法人 こどもの里

支援メニュー 寄付管理(2018年度)

大阪の西成区を拠点に、学童保育、つどいの広場、ファミリーホーム、自立援助ホームなど行政の委託事業のほか、自主事業として緊急一時宿泊所、中高生の居場所事業等、子どもに関わるあらゆるサポートを40年以上に渡って取り組んでいる団体です。



前列左から3人目が  
こどもの里 植月智子さん

前列左から4人目(猫を抱く)が  
プロボノメンバー 森 猛さん

その後について、プロボノメンバーが団体に伺いました。

目の前にいる子どもたちとの会話にも耳をそばだてながらやっていた事務作業は手作業が中心でした。似たような作業を8回も繰り返すので入力ミスも多く、寄付をいただいた方々への対応をもっと効率よく進めたいと考えていました。プロボノチームは担当者がやっている作業とやり方を把握し、市販のソフトの導入ではなく使い慣れたExcelをフル活用したツール「里キフ」を開発。これにより、寄付管理の作業工数とミスの削減の両方を達成することができました。あれから10か月たちましたが、「めちゃくちゃ助かっています!ほぼ毎日使っ

ています」というのは、現在も寄付管理を担当する植月さん。「特に7、12月は寄付の増加と行事が重なり大変ですが、困る事なく対応できています」といううれしいコメントをいただきました。「ツールの開発だけでなく処理マニュアルもあるので、毎月には行わない特別な事務処理も問題なく実施できている」とのこと。それだけでなく担当者以外にもマニュアルを見てもらえば作業を手伝ってもらえるので、効率化が図れるだけでなく、子どもたちに向き合う時間がしっかりとれるようになっています。

## いつもの業務も意識が変わる、 確実な一歩



支援先 NPO法人 あっとすくーる

支援メニュー 業務フロー設計(2019年度)

経済的困難な1人親家庭の子ども達が、  
前向きに進路を選択できる社会を創ることを目的に、  
中高生を対象にした学習支援を行っている団体です。



あっとすくーる 集合写真



ワークショップを通じて課題の可視化へ

その後について、プロボノメンバーが団体に伺いました。

拠点が少しずつ増えていく中で、業務内容が属人化してきている状況でしたが、組織として信頼してもらえるためには、業務を標準化し、安定した運営ができるようになる必要性がありました。各拠点の学生スタッフ、職員の方にヒアリングを実施し、業務の状況や改善点を明らかにしていきました。

プロボノメンバーも団体のスタッフも共にチームとして、みんなで課題解決に取り組みました。代表の渡さんか

らは、「このプロセスを通じて出来上がった業務フローを使い、活動の効果を意識しながら取り組むことで、これまではあまり意識してこなかったPDCAサイクルを回しながら活動することができています。CheckとActionはまだ弱いとは自覚しつつ、成果を意識して活動しています。」と現状を伺うことができました。

## 団体の「実行性」にフォーカスした 提案が成果を呼び込む



支援先 社会福祉法人 日本国際社会事業団 (ISSJ)

支援メニュー マーケティング基礎調査(2019年度)

戦後、米軍兵士と日本人女性との間に生まれた子どもを、  
主に米国の家庭に養子縁組する団体として1952年に設立。  
現在は「養子縁組支援」と「外国とつながりのある家族の支援」を主な事業としている団体です。



プロボノメンバー  
山崎 英明さん

新たな  
社会貢献の  
形

プロボノ活動を通じて、これまでやってきた事は、団体や法人の運営環境を当事者の如く理解する事でした。プロボノ活動によって課題と思っていた事象に風穴が開き、それがきっかけで運営状態が少しでも良くなる様に動き出すのであれば、間接的に社会貢献に役立っていると実感できます。

プロボノ活動が終了した後、団体や法人の活躍と発展を見聞きた際、それが物凄くやりがいにつながります。

提案内容では、先にポリシーが明確にあって、しかも、まったく新しい内容ではなく、すでに自分たちがやってきた事を使い、「ISSJはこれで良いんだ」と言われた事が自信につながり、モチベーションが向上しました。指摘もらったポイントを踏まえた人材活用では、広報施策でオンライン・セミナー開催に向けて、新たに専門家一人に入ってもらい、全国70名もの参加者を集客できました。イベント開催ツールのPeatixなどを使ったことがありませんでしたが、外部の力を借りて実施できました。

応援団



ISSJ 常務理事  
石川 美絵子さん

## クラウドファンディング成功の鍵は 【分かち合う】【ほぐす】【導く】斜めの関係



支援先 ▶ 認定NPO法人 スペースふう

支援メニュー ▶ 事業計画立案(2018年度)

全国で初めてリユース食器のレンタル事業を確立し、リユース食器のレンタル販売を行いながら、リユース食器レンタルの普及活動を行っている団体です。

プロジェクト終了後、コロナ禍のイベント中止に伴い、収益の柱を見直さざるを得ない時に頼ったのがプロボノ。プロジェクト終了後、コロナ禍のイベント中止に伴い、収益の柱を見直さざるを得ない時に頼ったのがプロボノ。プロジェクト終了後、コロナ禍のイベント中止に伴い、収益の柱を見直さざるを得ない時に頼ったのがプロボノ。プロジェクト終了後、コロナ禍のイベント中止に伴い、収益の柱を見直さざるを得ない時に頼ったのがプロボノ。



スペースふう 事務局  
長池 伸子さん

伴走者、サポーター、  
ななめの距離の仲間

スペースふうは地方にある小規模のNPOで、女性中心、ITに明るい若者層がないなど、実施にあたってたくさんのハードルがありました。内容を理解する導入、申請する/実行する実行力、言語化する発信力、それぞれで斜めの関係の藤村さんから柔らかいフォローがタイミングよくあったおかげで、気持ちがほぐれ、進めていくことができました。

「プロボノのつながりが豊かな人生につながる」

プロボノで自分の知識や経験が様々な事業者さんに役立つことを知りました。プロボノで得た人脈を活かし、コロナ禍で苦勞されているNPOや個人事業主向けのビジネス勉強会を立ち上げ、月例で開催しています。自身の価値観や人脈などあらゆる幅を広げることにつながり、人生を豊かにする機会になる活動だと思います。

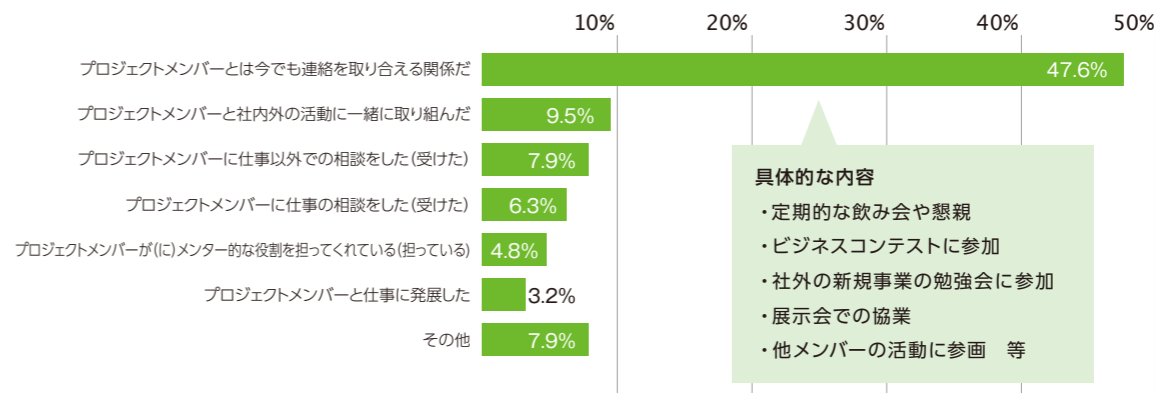
新たな自分をつくりだす機会



プロボノメンバー  
藤村 英樹さん

## 会社外のフラットな関係性が 新たな繋がりを生み出す

アンケートからは、約半数以上は、同じプロジェクトメンバーとその後の継続的な関係性があり、社内人脈の拡大や、年代や役割を超えてつながっていることがわかりました。



支援先 ▶ 公益財団法人 箕面国際交流協会

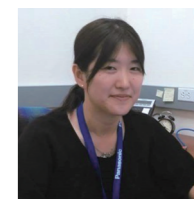
支援メニュー ▶ 事業計画立案(2016年度)

箕面市で多文化共生社会を実現する「まちづくり」を目指し、日本語学習支援、多言語相談のほか、多国籍な地域社会の状況を活かしたコミュニティカフェ「コム・カフェ」の運営にも取り組んでいる団体です。



プロボノメンバー  
五寶 靖さん

箕面市国際交流協会の事業計画立案プロジェクトメンバー。その後も、仕事の相談、キャリアに関して忌憚ない意見を求められるメンター的な関係性に発展しています。



プロボノメンバー  
山下 景子さん

## キャリアコンサルタント資格に挑戦、 スキルを活かしたNPO支援へ



支援先 NPO法人 健康ラボステーション

支援メニュー マーケティング基礎調査(2016年度)

地域住民を対象に、医療機関、介護施設、行政関係、民間企業等でのセルフ健康チェック事業を行っている団体です。



プロボノメンバー  
植田 ひさみさん(右)

人とのネットワーク、  
そこから生まれる未来



大阪に単身赴任をしていた時、友達から誘われて、プロボノ活動に参加しました。プロボノ活動は衝撃的で、NPO法人健康ラボステーション様の熱い思いを伺い、圧倒されました。お困りごとを伺いながら、悩みながらも、市場調査、アンケートやインタビューを重ね、最終報告のプレゼンをとても喜んでいただけたことが嬉しかったです。また、1年後、新聞に健康ラボの活躍、笑顔の写真が大きく掲載されている記事を目にし、その時の感激は

忘れません。現在は人材開発の仕事に携わっており、もっと専門知識・スキルを高めたいとの思いから国家資格キャリアコンサルタントに挑戦、合格することができました。今はボランティアで受験サポートの活動をしています。私の目標は、プロのキャリアコンサルタントです。お客様に寄り添い、そしてお客様が「はたらく」ことを通じて笑顔になっていただけるように、夢の実現に取り組んでいきたいと思っています。

## プロボノをきっかけに仕事への向き合い方、 社外への関心に変化

プログラムへの参加を通じて得られた内容を大別すると、回答が多かった順に、右記のように分類することができました。

- 意識の変化や視野の広がり
- 仕事やキャリアへの相乗効果
- 社内外の人脈の拡大
- 自己効力感
- 社会課題との接点
- 団体からの刺激
- 会社への認識
- 自己への認識
- その他



プロボノメンバー  
岐津 三泰さん

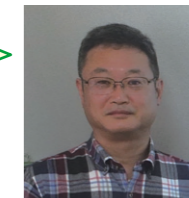
社会の窓に  
アクセスすること

福島県での週末のプロボノプロジェクトに参加以降、複数の長期的なプロジェクトにも積極的に参加。プロボノをきっかけに、仕事へのモチベーションの高まりを感じ、何事にも挑戦する姿勢を持つようになりました。



きっかけは社内メンバーとのプロジェクトでしたが、社外メンバーと進めるプロボノ活動に興味を持ち、幾つか参加するようになりました。今後も新しい事にチャレンジしたいので、プロボノに継続的に参加していきたいと思っています。

新しい出会いと  
自分発見



プロボノメンバー  
川口 高史さん



## 仕事外のチャレンジが生み出す好循環 スキルアップ、学びの実践



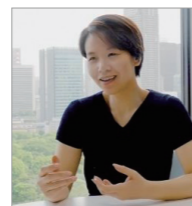
プロボノメンバー  
村井 直哉さん

社会へとつながる扉

プロジェクト参画当初はプライベートでウェブサイトの制作する程度の知識でしたが、プロのデザイナーさん達とチームを組んで取り組むことでスキルアップにつながりました。プロボノで出会った人とのご縁をきっかけに自分の世界が広がったと感じています。

プロボノを始めてからは社会課題を自分ごとと捉えるようにもなりました。いつしか個人名刺にプロボノの経験を記載して話題にするようにも。皆さんに興味を持っていただけるので、自分の知ったことを共有し、課題をみんなのものにしていくことがNPOの支援につながっていくと思います。プロボノが多くの人にとって社会とつながるきっかけになると嬉しいです。

社内の「ソーシャルコントリビュートアワード」にプロボノプロジェクトを申請し、優秀賞を受賞しました。支援者から主体者へ、参加者から触発する者へ。プロボノの参加を通じて、より課題解決への意欲とイノベーションマインド、マネジメント意識が向上したように思います。社会人学生として大学院で学び直した様々な課題解決手法が、仕事だけではなくプロボノプロジェクトの推進にも活かされ、学びの良い循環、応用の場にも機能していると感じます。



プロボノメンバー  
本田 杉子さん



5

## 参加従業員 アンケート結果のご紹介

アンケートで得られた従業員の声を紹介します。  
プロボノ1DAYチャレンジや長期プロジェクトなどの期間に関わらず、2011年～2019年度のプロジェクト参加者を対象に、アンケートを実施しました。

- アンケート期間：2020年10月～2021年1月
- 従業員回答数：126名／207名
- 従業員回答率：60.8%





## プロボノは、社会感度を高める

98.5%が支援先NPOの活動や、取り組む社会課題への理解ができるようになった

とてもそう思う42.9%      そう思う55.6%

93.7%が社会課題への意識や感度が高まった

とてもそう思う43.7%      そう思う50.0%

87.3%が社会課題を自分事として捉えるようになった

とてもそう思う24.6%      そう思う62.7%

65.1%が仕事の中で社会課題の解決(イノベーション)をより意識するようになった

とてもそう思う17.5%      そう思う47.6%

54%が自分が今後関わっていきたい社会課題が見つかった

はい54.0%



## プロボノは、多様性への理解や自己効力感・主体性を高める

96%がチームメンバーやNPOなどとの協働を通じて、多様性の意義を体感することができた

とてもそう思う39.7%      そう思う56.3%

89.7%が多様なチームメンバーとの協働は、今後の仕事を進めるうえでも役立つと感じた

とてもそう思う38.9%      そう思う50.8%

85.9%が仕事以外で、自らのこれまでの経験を発揮する機会は自己効力感を高める

とてもそう思う29.6%      そう思う56.3%

48.4%がこれまでにない業務や、上の役割を担うなどの新たなことに対して積極的になった

はい48.4%

34.1%が自分で新しい取り組みをはじめた

はい34.1%



次の一歩の  
起動スイッチ

山崎 洋治さん

ソフトウェアの設計・技術開発

多くの人が社会課題に関心を持ち積極的に活動している事実を知ったことが何より大きいです。転職という手段を使わずとも、自分をリセットし新たな刺激を受けるきっかけを得る事ができました。



社会貢献と  
自己成長

藤村 真琴さん

特許・知的財産

プロボノを通じて、社会課題が他人事ではないということを知り、また、その社会課題に現場で日々向き合われている方々の思いを知ることができました。



現場学習

池田 勝秀さん

営業部門物流担当

プロボノ参加後、社会課題への関心が高まりました。物流業務に携わる中で、個人でホワイト物流推進運動に関わるセミナーに参加するなど行動変容がありました。ここで得たものを職場で発信したり、業務改善の提案、取り組みに繋げています。



自分の能力を  
活かした  
効率的な社会貢献

森 猛さん

ソフトウェア設計

自分達の取り組みの効果の大きさ、また現場の人の感謝の言葉から、もっと頑張りたいと思う活力になりました。



楽しい仲間との  
チームワーク

松嶋 潤子さん

貿易事務

社会課題や人のために何か活動しようという志のある仲間との活動は気持ちが良かったです。仕事においても自発性が大切という事を感じました。



知らない  
世界を知れる。  
知らなかった  
自分を知れる。

西 和哉さん

コストバスターズ担当

プロボノ活動を通じて社会貢献と自己成長を実感することができました。

\*プロボノスキル登録時の職種を紹介しています。



## プロボノは、仕事にも活きる経験

92.1% が仕事以外で課題発見、課題解決に取り組む経験は仕事にも必ずつながると思う

とてもそう思う42.1%

そう思う50.0%

73% がこれまでの経験・スキルが活かせ、仕事の幅を広げたいと思うようになった

とてもそう思う19.0%

そう思う54.0%

67.5% が社内の人脈が広がった

はい67.5%

65.1% が仕事への姿勢・取り組み方、職場での同僚などへの接し方等に良い変化が生まれている

とてもそう思う11.1%

そう思う54.0%

61.1% がプロボノの経験は、仕事の捉え方、向き合い方が変わるきっかけになった

はい61.1%



自分のスキルの  
多様性を  
発見するもの

立松 英樹さん

電子部品の調達担当

仕事と比べたら短期でプロジェクトを回せるので、マネジメントのいい勉強になりました。自分の退職後にも参加できるNPOを探したいです。



やりがいの会得

山川 浩慎さん

マーケティング・新規事業開発

訪問先のメンバー、チームメンバーとつながりができ、いろいろな立ち場での見方・考え方があったと感じました。限定期間で結果を残す達成感がありました。



自分自身の発見

丹田 浩司さん

営業・顧客管理・宣伝

新規事業勉強会やプロジェクトを始めました。社会課題の解決が仕事への意欲につながっています。社内外の人脈を得られる活動です。



## プロボノは、今後の自律的なキャリアを考えるスタート

65.1% が自分のスキルの棚卸しや、新たな発見があった(自分のキャリアやスキルの向上に役立った実感がある)

とてもそう思う17.5%

そう思う47.6%

49.2% がリーダーシップやチームワーク、プロジェクトマネジメントなど、本業外での経験の学びを本業にも持ち込むチャレンジをした

はい49.2%

85.7% が成長を高める選択肢だと思うと回答

はい85.7%



社会と  
もっとつながる

西谷 雄さん

研究開発

業務では得られない学びと体験がありました。



籠の中から  
飛び出す

東原 翔平さん

設計開発

越境学習として自身の成長に非常に有意義と感じています。



「人生道場」

前田 博さん

マーケティング・プロモーション

仕事以外でも自分の持つスキルを役立てることができると実感できました。携わる団体や集うメンバーにより、気づきや学びの観点が異なるので、自分の懐の引き出しを常に増やせます。



世間知らずな自分自身に  
ショックを与えること

山下 景子さん

知的財産(契約・渉外)担当

自己の経験・スキルの振り返りにより、キャリアプランを意識し、今後の様々な選択肢について考えるようになりました。プロジェクトマネージャーを担当することで、社内メンバーとのプロジェクトの進め方、新入社員や若手社員への指導の際に参考になりました。



## 企業市民活動や自社への愛着・ロイヤリティが高まる

66.7%が社会に役立とうとする同じ意識の社員と繋がることで、自社がさらに好きになった  
とてもそう思う12.7%      そう思う54.0%

83.3%がプロボノのような取り組みを会社で行っていることで、自社に良い印象を持ったり、誇りをもつようになった  
とてもそう思う22.2%      そう思う61.1%



仲間づくり

藤井 圭子さん  
事務アシスタント

途中入社で、他部署と同期と呼ぶ友人も知り合いもいなかったのですが、他の色々な部門の方と知り合えて、自分のネットワークや視野が広がりました。



新しい視野が持てる  
出会いがある!

上之山 陽子さん  
国際取引管理

仕事やプロボノを離れてもずっとつながっていられるメンバーと出会えたことはこれからの人生の宝になります。社内にいろいろな思いや考えを持って行動している人がたくさんいることが分かって嬉しかったです。



## プロボノの魅力

69.1%が再度参加してみたいと回答  
とてもそう思う13.5%      そう思う55.6%

60.3%が知人や友人にプロボノへの参加を実際に勧めた  
はい60.3%



## 私にとってのプロボノ ①

※法人格表記は省略しています。



自身を豊かに  
できる活動

岡崎 嘉幸さん  
システム開発

支援先 気候ネットワークなど

仕事のみではなく、プライベートや余暇を充実させることにも目を向けるようになりました。微力でも、社会の役に立つことができる実感があります。



日常の世界から  
「少し」幅を  
広げてみよう!

尾崎 明さん 建設業法・安全管理担当

支援先 CAPセンター・JAPAN

会社の仕事ではどうしても年長者の意見が幅を利かせることになりませんが、プロボノではそれぞれのスキルを尊重しながら、プロジェクトを進めたことが印象に残っています。日頃の仕事では、どうしてもある一定の領域から出ることはありませんが、社内でありながら自分と全く違う仕事・世界で生きている人と接することは大いに刺激となり、視野を広げることが出来ました。



働く意義を  
考えるチャンス

小林 一也さん  
建築設計・商品企画

支援先 あつとすくーる

ビジネスのあるべき姿、本当の価値を知る事が出来ました。認知度が上がると、会社風土が良くなると思います。



社会勉強

藤牧 ミオさん  
営業企画

支援先 全国災害ボランティア  
支援団体ネットワーク

他カンパニーの方と初めて接することができ、企業文化・環境・仕事への取り組み方などの違いが知れてとても勉強になりました。



三人寄れば  
文殊の知恵

清水 園子さん  
特許事務担当

支援先 エスビューロー

互いに良いところを取り入れて同化するより、それぞれ個別で適材適所で動くことの良さを痛感しました。当時を振り返ると、多様性の先駆け体験だったと思います。ウェブ制作の進め方も勉強になり、その後、自身の趣味にも活かしています。



どんな小さなことでも  
誰かのお役に立ちになる

大嶋 真奈美さん  
営業企画、販促担当

支援先 全国災害ボランティア  
支援団体ネットワーク

どんな小さなスキルでも、人の役に立つことができると感じました。また、視点が違う人があつまることで自分だけでは気づけなかった発見が多くあり、とても勉強になりました。



## 私にとってのプロボノ ②

※法人格表記は省略しています。



原口 雄一郎さん  
企画・マーケティング

自分のスキルや  
価値観・課題意識を  
相対化する機会

支援先 日本バラタナゴ高安研究会など

NPOの代表とウェブサイト伝えていきたいことを整理したり、活動の現場に一緒にいたことを通じて、新しい価値観や課題意識を得ることができました。またチームの連帯感や、活動を通じたメンバーからの学びも価値のあるものでした。

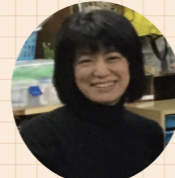


長倉 輝明さん  
システム開発

社会課題を  
知ること

支援先 こどもコミュニティケアなど

団体の内部に一步入ってお手伝いさせていただくことで、表には出にくい課題や実態を学ぶことができました。プロボノ終了後も支援先NPOの活動を把握していたことで、困りごとを感じておられる個人の方に、団体の活動を紹介し繋ぐことができました。



細川 敦子さん  
人事、経理財務

感謝されることに

支援先 こどもの里

やってもやっても足りない仕事も多い中で、メンバーの工夫と努力が具体的な一つの形になり、やった分だけ感謝していただいた嬉しい体験になりました。



藤田 直子さん  
情報システム企画

自己啓発

支援先 アクセスなど

2回参加のプロジェクトはどれも国際的な活動をしていました。家族からの理解も得て、子どもも国際問題に関係するボランティア活動をしていることに対して、興味をもってくれています。



池原 久恵さん  
商品企画・マーケティング

自分試し

支援先 こどもの里

主体的に活動されるNPOの皆さんの熱量が刺激になりました。自分のキャリアが社外で通用するか、みつめ直せる機会になります。



大野 由美子さん  
営業事務

社会での自分の  
価値を知る

支援先 スペースふう

NPO創設者やスタッフの方々への熱い思いを理解し、遅い実行推進力には感銘を受けました。身近な取り組みから世界の状況まで関心を持ち、SDGsについてより理解を深めたいです。たくさん方と接することが出来て、視野が広がり自分の成長につながりました。



## 私にとってのプロボノ ③

※法人格表記は省略しています。



中田 紗也子さん  
事業企画・運営担当

他流試合

支援先 CAPセンタージャパン

プロボノを通じ、改めてゴールを定めることの大切さを学びましたし、社会課題をリアルに感じたり、凝り固まった業務推進に風穴をあけることもできました。何より支援先の方やプロボノメンバーとの出会いは大切な財産となりました。



藤澤 順子さん  
技術調査分析

スキルを活かした  
社会貢献

支援先 くまもと災害ボランティアネットワーク

被災地の復興に取り組む団体への支援の後、岡山県の豪雨ボランティアに参加しました。社会課題解決型の新規事業を考えるようになりました。



鈴木 亜紀さん  
研修企画・運営担当

何歳からでも  
視野が突然  
広がると思えた、  
最初の一步

支援先 支援先日本国際社会事業団 (ISSJ)

これまで、近いようで遠かった「国際協力」が身近に感じられ、自分にも出来るような意識が高まりました。また、ベテランのメンバーを見て、スキルアップすれば貢献が出来るのだと思い、自分を高めるために日々の業務も意識を高めて取り組もうと思いました。

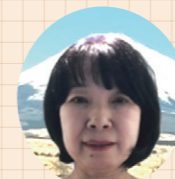


上原 大輔さん  
広報

社会のすそ野を  
知る活動、  
社会の小さな声を  
聞く活動

支援先 気候ネットワーク

NPOの方々の眼差しや懐事情といった手触り感を得ることができ、ソーシャルコミュニケーションを設計する際に役立っています。



河野 保江さん  
品質管理

生涯学習かしら

支援先 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

私でもできるかな、からの自分磨き。パソコン一台あれば各地とつながり、メンバー・団体のパワーに毎回刺激をもらいました。家族からも楽しそうに参加していたと言われ、初プロボノ時間はすべてwin-winでした。



久保山 武さん  
人材育成

自分の新たな  
可能性と役割に  
気づく場

支援先 山村塾

NPO山村塾様の熱い思いに触れ、共感し、参加メンバーと共にプロジェクトを楽しく進めることができました。これからのキャリアを深く考えることができる貴重な機会でした。

## \プロボノとは一言で? /

# 自分



- 社会を良くするシステムに自分が組み込まれていることを思い出すことができる
- 自分のスキルの棚卸し
- 社会見学と自分発見
- 自分の知らない社会問題は多種多様に存在する
- 新たな気付きと同じ志をもった人との出会いを通じて自身が成長できるきっかけ
- 自分への気付き
- 社会と自分へのチャレンジ
- 自分の価値観を相対化すること
- 社会への向き合いを通じた自分との向き合いでもある
- 自分の視野が広がる
- 新しい出会いと自分発見
- 自分自身の発見
- 社会に目を向け自己成長のきっかけとなる活動
- 自己探索

# 機会



- 会社生活とは異なる視点で気づきを得られる機会
- 非営利団体という組織の実態や苦労を肌で感じる事ができた機会
- 人・社会と出会える機会
- 多様性を学ぶ機会
- NPOの活動を知る機会、知識・考えを拡げる機会

## \プロボノとは一言で? /

- 異経験
- 一度経験したら良いもの
- 会社の中にはできない経験
- 社外での経験が増える
- 本業以外での経験場所
- 一回は体験しても良いと思うが、人や関わる団体に左右される

# 経験



# 働く

- 働く=人のために動く、とは何なのかを考える場
- 働く意義を考えるチャンス

# 社会課題

- 社会課題を肌で感じる事
- 社会課題解決を人助けの慈善事業から持続可能なビジネスに変える原動力
- 社会課題への最初の扉・気づき・意識付け
- 社会との接点、多様性を知るきっかけ
- 面白くて、ためになる。大人の社会科見学
- 考えるヒントであり社会への恩返し
- 社会との繋がりと自身の役立ちを実感する機会
- 社会人としての真価が問われるボランティア
- 異なる切り口からの社会参加



\プロボノとは一言で? /

## 出会い・ネットワーク

- 人生を豊かにする出会い
- 異なる価値観との出会い
- 人とのネットワーク、そこから生まれる未来
- 多様なバックグラウンドの人たちがチームとなり  
複眼的に課題解決を行なう活動
- 新たな出会い
- セカンドライフの充実
- 楽しい仲間とのチームワーク
- 人との交わり
- 一期一会



## チャレンジ



- チャレンジの窓口
- 思った以上に大変、でも刺激は受ける
- やればわかる、やらないとわからない

\プロボノとは一言で? /

## 社会貢献



- 自己研鑽と社会貢献の二重取り
- 本業以外での社会貢献の実践
- 社会貢献とスキルアップ
- 社会貢献を体感できるもの

## その他



- 具体的な成果物を目標にした社会人ボランティア
- 人生の学び
- 人間力の場。時間と周りの理解が無いとできないこと
- 理解し合うこと
- 存在意義を意識する場。人間としても企業人としても
- 興味から始めても大丈夫
- 新境地開拓
- 豊かな共生
- 希望
- 財産
- 充実感
- リアリティを知ること
- スキルとマッチするかどうかで満足度が変わる
- 地球市民活動
- 世界と明日への窓です

## ＜協働パートナーからのメッセージ＞

Message from collaborative partners



### 認定NPO法人サービスグラント

代表理事 嵯峨 生馬

### Panasonic NPO/NGO サポート プロボノ プログラム その10年間の成果と さらなる広がりを期待して。

プログラムの開始当初から「NPOの組織基盤強化」をコンセプトとして掲げたPanasonic NPO/NGOサポート プロボノ プログラム。その10年間の成果がこの冊子の随所のにじみ出ています。パナソニック従業員の皆さまの粘り強い課題解決力とチームワークによって、NPOの組織運営の在り方を刷新したり、中長期的なビジョンを具体化したり、団体の活動成果を可視化したりといった、インパクトある支援を数多く実現してきました。同時に、そこに関わった従業員の皆さまにも、社会課題への気づきや本業にもつながるイノベーションマインドの向上といった効果を生み出しています。それもこれも、一人ひとりの従業員の皆さまの活躍の積み重ね、そして、毎年のようにプログラムに見直しをかけ、新たな取り組みに挑戦するなど工夫の積み重ねがあってこそ。これからも創意工夫と挑戦に満ちたプロボノ活動のさらなる広がりに期待しています。

## パナソニックの企業市民活動

パナソニックは、「A Better Life, A Better World」の実現に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて、社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献することを目指しています。私たちは製品・技術開発やモノづくりで培ったノウハウ・リソースを活かし、世界的な問題である「貧困の解消」を重点テーマに、誰もが喜びを分かち合い、生き活きとくらす「共生社会」を目指して、人材育成や機会創出、相互理解をテーマとする企業市民活動をグローバルに展開しています。

発行先:パナソニック株式会社 オペレーショナルエクセレンス社 企業市民活動推進部  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番2号東京ミッドタウン日比谷14階  
パナソニックのプロボノの取り組みはウェブサイトよりご覧いただけます。  
<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnst/probono.html>

